

県内における産業廃棄物の排出状況等について

令和元年11月14日
産業廃棄物課

1 産業廃棄物の排出状況

県内の産業廃棄物の排出量は、表1及び図1のとおりである。

表1 県内排出量の推移

(単位：万t)

年度	H18	H19	H20	H21	H22	H23
排出量	863	847	834	822	799	745
H18年度比	100%	98%	97%	95%	93%	86%

年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29
排出量	805	849	832	794	733	784
H18年度比	93%	98%	96%	92%	85%	91%

※産業廃棄物税導入時からの比較

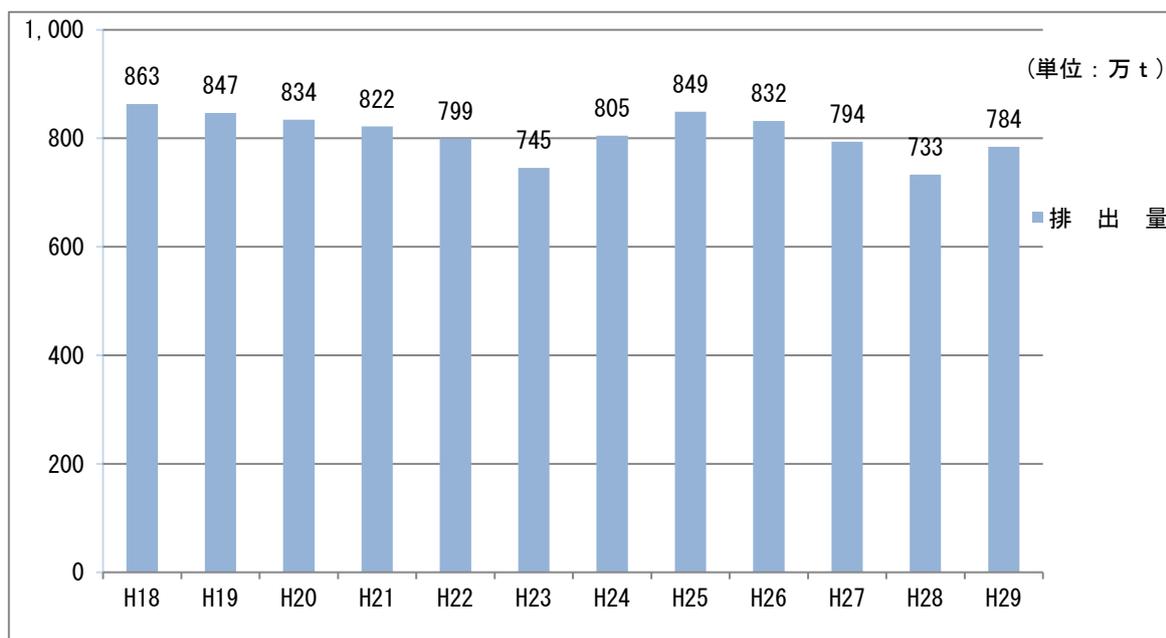


図1 県内排出量

産業廃棄物の排出量は、東日本大震災による産業活動の停滞、その後の産業活動の再開や災害復旧・復興工事等により増減が見られる。平成29年度は増加した。

産業廃棄物の種類別、業種別の排出量は、図 2、3 のとおりである。

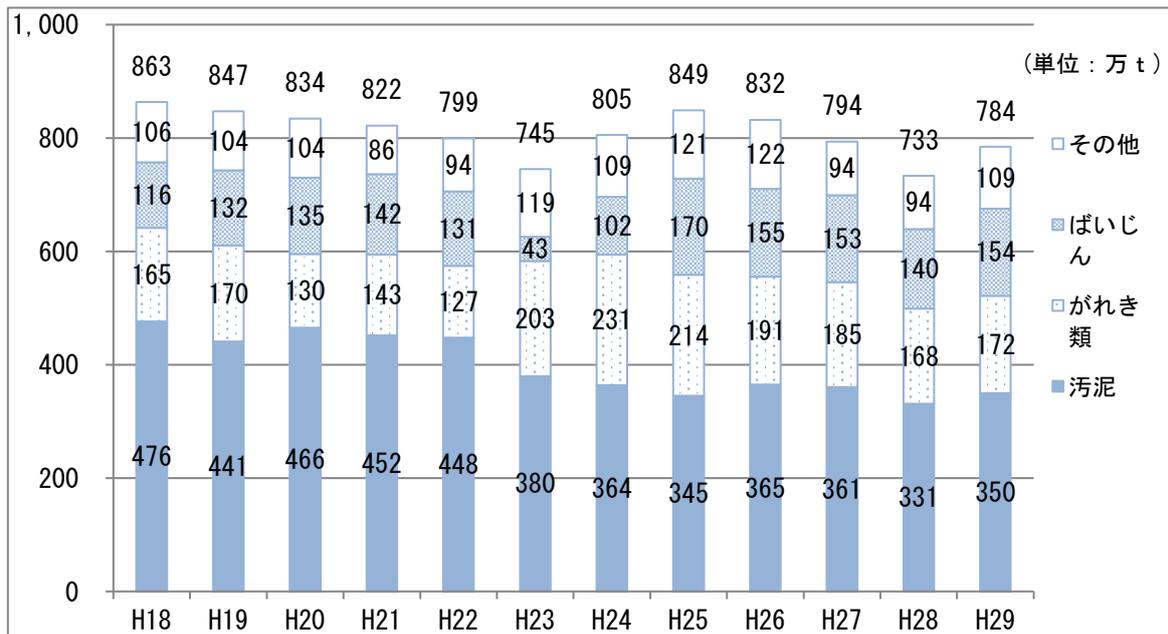


図 2 種類別排出量

種類別にみると、直近の平成 29 年度は「汚泥」が最も多く、次いで「がれき類」、「ばいじん」となっている。経年変化は、「汚泥」が減少傾向、震災後増加した「がれき類」も、その後減少傾向にある。なお、平成 29 年度は全ての種類が増加した。

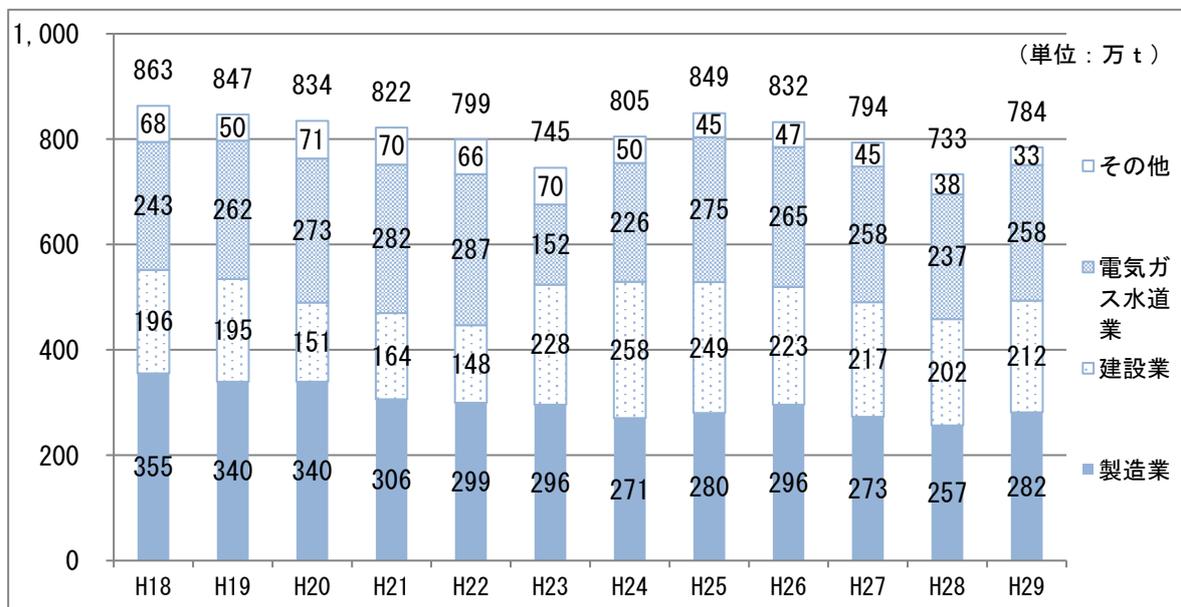


図 3 業種別排出量

業種別にみると、直近の平成 29 年度は「製造業」が最も多く、次いで「電気・ガス・水道業」、「建設業」となっている。経年変化は、「製造業」が減少傾向、震災後増加した「建設業」も、その後減少傾向にある。なお、平成 29 年度は主要な 3 業種全てが増加した。

2 産業廃棄物の最終処分状況

県内で発生した産業廃棄物の最終処分量は、表 2 及び図 4 のとおりである。

表 2 県内発生した産業廃棄物の最終処分量の推移

(単位：万 t)

年度	H18	H19	H20	H21	H22	H23
最終処分量 (最終処分率)	61 (7%)	70 (8%)	80 (10%)	72 (9%)	73 (9%)	52 (7%)
H18年度比	100%	114%	131%	117%	118%	85%

年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29
最終処分量 (最終処分率)	96 (12%)	84 (10%)	68 (8%)	57 (7%)	47 (6%)	54 (7%)
H18年度比	157%	137%	111%	93%	77%	89%

※最終処分率＝(最終処分量／産業廃棄物の県内排出量)×100

※最終処分量には県外で最終処分された量が含まれており、県外から搬入され、最終処分された量は含まれていない。

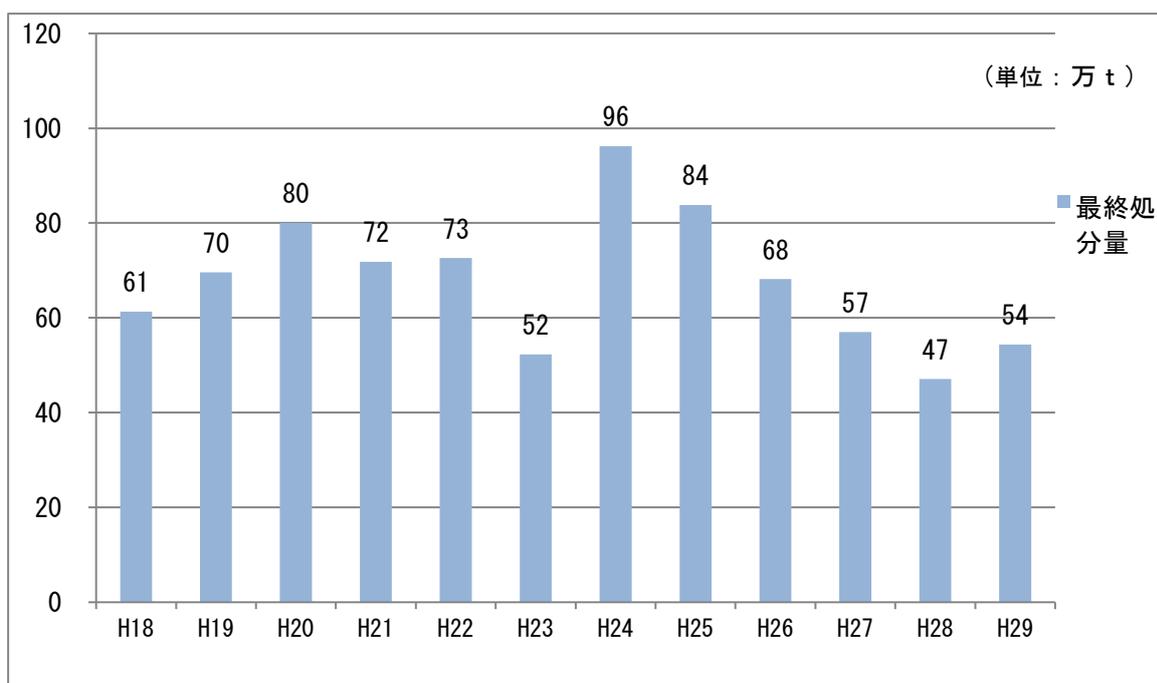


図 4 県内産業廃棄物の最終処分量

最終処分量は震災後に大きな増減がみられる。平成 29 年度は増加した。

産業廃棄物の種類別、業種別の最終処分量は、図5、6のとおりである。

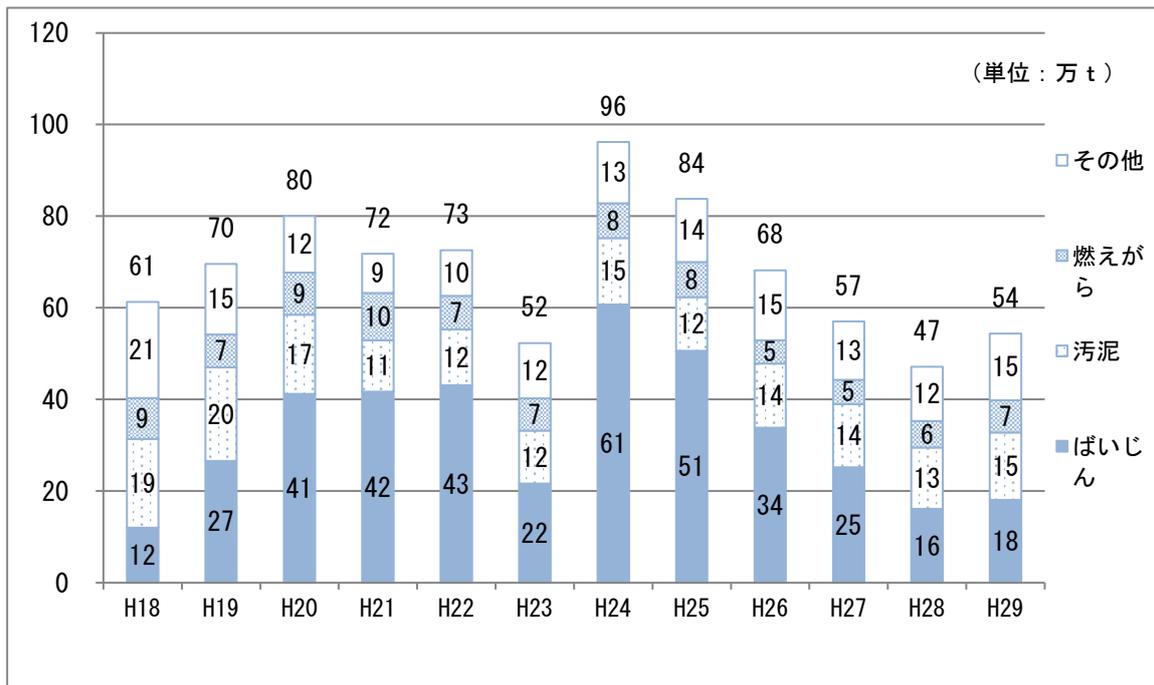


図5 種類別最終処分量

種類別にみると、直近の平成29年度は「ばいじん」、「汚泥」、「その他」の各々が同程度に割合が高い。経年変化は、震災後に増加した「ばいじん」が再生利用の進展により大きく減少した。

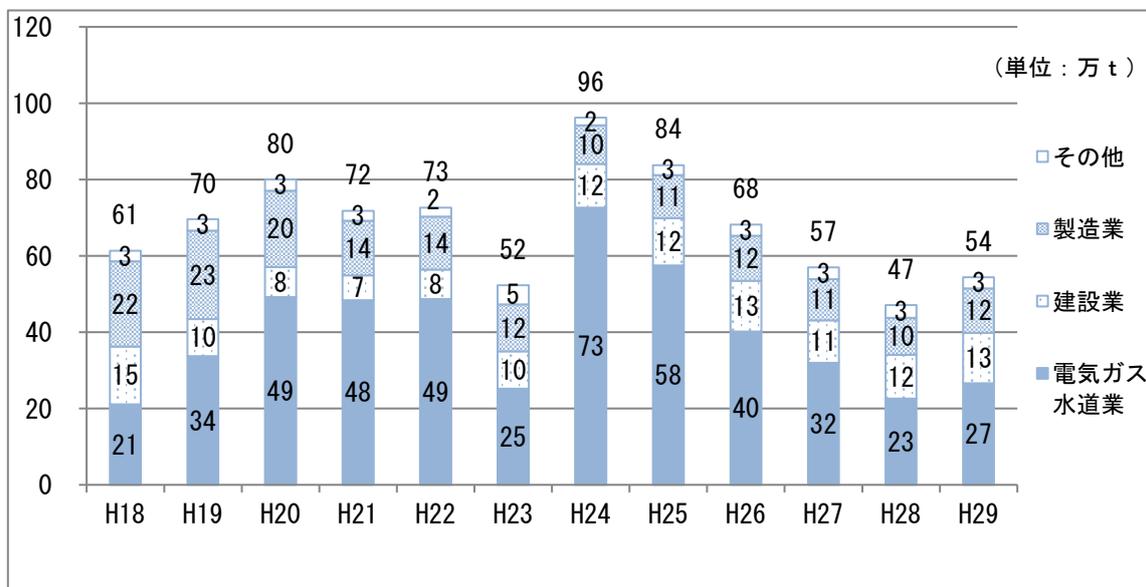


図6 業種別最終処分量

業種別にみると、直近の平成29年度は「電気・ガス・水道業」の占める割合が高い。経年変化は、震災後に増加した「電気・ガス・水道業」が大きく減少した。